

平成24年度 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成25年2月9日(土)

【女子】2回戦 緑が丘スポーツ公園体育館 Cコート 第6試合

千葉英和 (千葉県)	76	$\left. \begin{matrix} 21 & - & 17 \\ 18 & - & 19 \\ 11 & - & 13 \\ 26 & - & 16 \\ & - & & \end{matrix} \right\} 65$	県立富士北稜 (山梨県)
---------------	----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

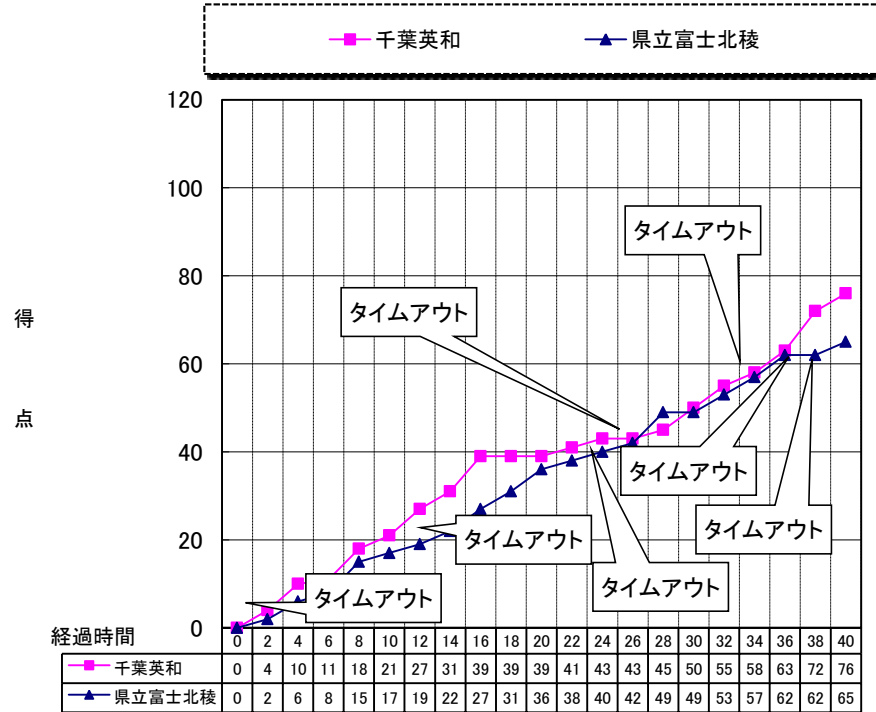
千葉英和

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4 *	萩原 美穂	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	1	2	1	0	1
5 *	星 香那恵	20	0	0	10	19	0	0	2	5	4	9	2	2	0	3
6	若松 優津	5	1	4	0	4	2	2	1	1	0	1	0	2	0	1
7 *	月岡 優里	16	0	2	5	11	6	9	1	0	0	0	1	3	0	3
8 *	古川 真子	12	0	0	6	8	0	0	2	3	4	7	2	0	0	3
9	春田 桃子															
10	先崎 里南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
11	山下 志織	2	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
12	齊藤 由起															
13	^\`インツェル仁衣那															
14 *	小林 優香	14	2	4	3	11	2	2	2	1	3	4	2	2	0	0
15	寺井あかね	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0
16	神崎めぐみ	7	0	0	2	4	3	4	2	9	4	13	0	1	0	2
17	三浦ツェスヨホ悦詩															
18	笠井萌々子	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	4	0	0	0	0
HC	森村 義和/TEAM									2	1	3				0
チーム		76	3	11	26	63	15	19	14	25	18	43	11	12	0	14
*スターティングメンバー	確率		27.3%	41.3%	78.9%											

県立富士北稜

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4 *	小佐野里菜	27	2	3	9	16	3	4	4	3	1	4	2	2	0	4
5 *	羽田佳奈絵	10	0	0	5	8	0	0	5	4	1	5	5	1	0	3
6	柏木 春香	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 *	遠藤 絢子	4	0	3	2	4	0	1	4	1	3	4	7	4	0	4
8 *	小林 奈央	4	0	2	2	3	0	0	2	0	1	1	0	0	3	0
9	小林こゆり	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	1
10 *	舟久保沙耶	20	3	10	4	7	3	4	1	0	5	5	3	1	2	5
11	井出 菜月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	宮下 菜奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
13	舟久保里咲															
14	田中 彩葵															
15	手塚ひなた															
16	渡辺 彩水															
17	荒井 彩花															
18	太田 侑希															
HC	望月 哲/TEAM									0	1	1				0
チーム		65	5	20	22	39	6	9	19	8	13	21	20	10	5	18
*スターティングメンバー	確率		25.0%	56.4%	66.7%											

2分毎による得点の推移



戦評

1Q 富士北稜オールコートマンツーマン、千葉英和2-1-2オールコートゾーンプレスから2-3変速ゾーンでスタート。富士北稜はポストを絡めアウトサイドシュートとドライブインより得点し千葉英和は、球離れがよく、また、ディフェンスからの切り替えが速い小気味よい攻撃で得点を重ねる。多少、リバウンドを支配できた千葉英和が21-17で1Qを終える。

2Qも、依然ベースは変わらず富士北稜はボールサイドを集中して守り失点を防ぎ、対する千葉英和は、マンツーマン・ゾーンと多彩なディフェンスで富士北稜を苦しめる。

3Q、後半に入ると千葉英和は多少疲れが見え始め、シュートの確率が落ち、点差は縮まるが依然千葉英和がリードする。

4Qも一進一退の攻防が続くが、富士北稜のファウルがかきみフリースローでの失点が続く。残り3分00秒65-62千葉英和リード、千葉英和フリースローの場面で富士北稜タイムアウトを取りベースを変えようとするが、その後そのリバウンドでまたファウルをしてしまい、2分59秒でまた富士北稜タイムアウト。結果として1秒間に2回タイムアウトを取らなければならなくなってしまった。その後富士北稜⑤がファウルアウトしてしまい試合は決した。最後まで集中力がとぎれなかった千葉英和の頑張り、最後、多少集中力がとぎれてしまった富士北稜との差が試合の結果に出てしまった。しかし、富士北稜もボールサイドのディフェンスは目を見張るものがあった。

主審	長尾 繁徳	第1副審	山岸 大輔	第2副審	—	記入者	金子 義人
----	-------	------	-------	------	---	-----	-------